

令和7年度 指定管理者モニタリング総合評価表

1. 指定管理者概要

施 設 名	江津ひと・まちプラザ パレットごうつ
指 定 管 理 者 名 称	特定非営利活動法人てごねっと石見
指 定 管 理 期 間	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日
市所管課（問合せ先）	地域振興課 地域振興係
	TEL 0855-52-7926
	E-mail chiikishinko@city.gotsu.lg.jp

2. 指定管理者による自己評価（総評）

評 価	貸館件数 昨年度108件／月(1296件)に対し、今年度106件／月(1276件)で、2件／月(20件)の減となった。利用料収入は、昨年度 575,442円／月(6,905,310)に対し、今年度 639,783円／月(7,677,400)で、64,341円／月(772,090円)の増となった。 利用件数は昨年度を下回ったが収入額は最多額を更新した。 利用者数は、昨年度約164人／日(59,067人)に対し、今年度 約171人／日(62,448人)で、7人／日の増加となった。また市民団体による活動室の利用も年間780回(昨年861件)で、昨年度より減ったが2番目に多い利用回数となった。 主催事業として以下の3つを実施した。 GO▶つくる大学事業: 令和7年度は26の講義やイベントを開講し、参加者数は759名だった。その中でも学生の参加は395人だった。令和6年度は①フェムライフユニバーシティ②52コミュニティインターンシップ③古民家学生イベント④The青春Enjoy!!プロジェクト⑤Go-Conアカデミア⑥ごうつcafé実践型伴走など従来の座学形式を縮小し、地域課題の解決に挑む「実践型」へ軸足を移行。市民一人ひとりが知識の「消費者」から、価値を生み出す表現者へと変容。江津市全体をフィールドと捉えたカリキュラムの実現を加速。活動で裾野を広げていく活動をした。 フィールドステップアップ事業: ハロウィンイベントでは来場者数800名、企画ボランティア 5名、当日ボランティア 22名だった。クリスマスイベントでは来場者数500名、県立大学生がイベント運営をし企画ボランティア6名、当日ボランティア12名で開催した。ハロウィンとクリスマスという2つの大きな成功体験を通じ、学生たちの「やり抜く力」と「地域への愛着」を育むことができた。 ヘルスクリエイト事業: ①まちの人の「やってみたい！」の伴走を行い、からだ、こころ、かかわりの3つの視点から、まちの健康増進へとつなげる【やってみたい！をかなえる実験室】では3回の伴走を行い、63名の参加者があった。②地域医療フィールドワーク女性では島大、N高生、江津高校、いわみ留学生の15名が江津の地域医療について考えた。③地域のコミュニティ活動事例の発表の場なるコミュニティフェスでは10人の学生を含む43名が参加し、各地での活動のヒントとなった。
課題と今後の対応	施設管理: 利用者数を増やす取り組み。施設の経年劣化に伴う安全管理の徹底 事業: 学生に多く企画に関わってもらうので、その引継ぎの仕組みづくり

3. 市（施設所管課）の評価（総評）

評 価	施設運営に関して、貸館件数及び市民団体による活動室の利用件数は、昨年度を下回る結果となったが、利用料収入及び利用者数は、昨年度のそれらを上回る結果となったことから、依然として高い水準を維持しており、順調であると評価している。 また、主催事業の実施をとおして、乳幼児から高齢者までのあらゆる人々が憩い、交流し、活動する場を提供することで、中心市街地の賑わいと活力をを創出するとともに、地域を担う人づくりや市民活動を促進する拠点として本市全体の活性化と住民福祉の増進に寄与する本施設が果たすべき役割と、設置の目的を十分果たしているものと認められる。
課題と今後の対応	多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応するために民間のノウハウやアイデアを活かすことで、市民サービスや費用対効果の向上を図ることが期待される。 世代や地域を超えた交流、まちづくりや市民団体の活動の支援、施設利用者の拡大や新たな使い方について模索し、さらなる江津市全体の活性化に向けて取り組んでいきたい。

4.市(施設所管課)による項目評価

【評価の基準】

- ◎ …事業計画や仕様書等を遵守し、それを上回る取り組みが行われている。
- …事業計画や仕様書等に定める取り組みが適切に行われている。
- △ …事業計画や仕様書等に定める取り組みが概ね適切に行われているが、改善すべき点がある。
- × …事業計画や仕様書等に定める取り組みが行われていない。
- …評価対象外

評価項目	評価指標	評価
関係法規等の遵守	・法令、条例に基づき、適切な管理を行っている。 ・法令に基づく届出、報告書の提出を適切に行っている。	◎
開館時間、休館日等	・条例に基づく「開館時間」や「休館日」が遵守されている。	○
施設管理	・清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	○
	・施設、設備の点検、保守管理を適切に行っている。	○
	・備品の管理を適切に行っている。	◎
利用者サービス	・苦情、要望に対して迅速かつ適切に対応している。	○
	・利用者に対し、従事者の言葉使いや身だしなみ等の接遇が適切である。	○
	・利用者に対する案内や受付等、施設利用に係るサービスが適切に行われている。	◎
	・特定の利用者を優遇したり、利用を制限したりしていない。	○
サービス・利用の向上	・施設の利用促進、利用者の満足度向上のための取り組みが行われている。	◎
	・事業計画に基づいた自主事業等が行われている。	◎
人員体制	・適切な人員配置が行われている。	○
	・必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	○
	・組織の指揮、命令系統が明確にされている。	○
	・従事者の教育、研修等が計画的に実施されている。	○
外部委託	・第三者への業務委託は適正に行われている。	○
文書管理・保存	・文書の管理、保存が適切に行われている。	○
連絡・報告	・基本協定等に規定する計画書や報告書等の書類が遅延なく提出されている。また、その内容が適切である。	○
	・市との連絡、調整、報告を適切に行っている。	○
財務・経理事務	・料金の領収や減免等の手続きが適切に行われている。	○
	・経理帳簿や伝票等の保管、現金の取り扱いは適切に行われている。	◎
	・管理費用の執行状況は適正である。	○
	・収支状況は妥当である。	○
安全対策・危機管理	・利用者名簿等の個人情報適切に管理されている。	○
	・個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	○
	・事故、災害等の対応マニュアルや連絡体制が整備されている。	◎
	・避難訓練等、定期的な訓練を行っている。	◎
環境への配慮	・必要な保険に加入している。	○
	・省エネ、ゴミの減量化など、環境への配慮がなされている。	○

項目評価 特記事項 「△」や「×」の評価がある場合は改善対応を記載
定期的な備品のチェックなどをおこない、不備があれば市とも連携しながら迅速に対応している。スタッフもマニュアルを始め、成長度がわかるガンチャートを用い、スタッフを育成する仕組みができあがった。また、管理スタッフも自ら企画を考え実施し、利用者の目線に立って顧客によりそった接客・提案ができています。自主事業でも多くの市民(特に若年層)を巻き込み、主体的にまちに関わる機会の創出をしている。避難訓練等の定期的な訓練も毎回趣向をこらしながら、多角的な場面を想定した訓練を行っている。